



# ニュースレター

発行日 2007. 12. 20.

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

## Vol. 52

いよいよ押し詰まってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。今年も遊学舎の管理運営、地域やNPOの方々の活動支援などを行ってまいることができました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。風邪がはやっておりますのでくれぐれも、お体にお気をつけられて良いお年をお迎えください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

### 第4回患者塾 ～薬についてここが聞きたい～ が開かれました

12月2日（日）13：30～16：00

今回の話題提供者は秋田市の松岡内科クリニックの松岡一志先生でした。ご専門の循環器関係の病気である、高血圧や狭心症、不整脈、高脂血症などの治療に用いる薬を中心に話をしていただきました。薬は多少副作用があってもメリットが高い時は使い続けることもある、飲み忘れた薬はまとめて飲んではいけない、予防のために飲む薬と治療のために飲む薬があることなどが話されました。また参加者の質問には松岡先生その他、寺田内科医院の寺田俊夫先生、佐藤医院の佐藤家隆先生にも具体的な回答を頂きました。

過去の患者塾についてはあきたパートナーシップのHPにも順次掲載をしておりますのでご覧ください。



寸劇風景



## **ボランティア・NPO 広報術講座が開かれました**

12月8日（土）10：00～15：00

昨年に引き続き、（株）バウハウス社長の森川恒氏に講師をお願いして、市民活動団体がイベントなどのチラシを作る際に大事なこと、その具体的な方法、広報の仕方などを学びました。パソコン上で刻々と変化し、出来上がってゆくプロの手法を、ワードを使って教えてくださり、参加者からも参考になったと高い評価を頂きました。



## **ボランティアさんが活動しています**

遊学舎では様々な方がボランティア活動をしてくださっています。今回ご紹介する方は図書整理の工藤アエ子さんと佐藤美津子さんです。写真は全国から送られてくる情報誌を整理してくださっているところです。いつもありがとうございます。



…ここからは、これからの講座のご案内です……………

## **第5回患者塾**

2月3日（日）13：30～16：00

テーマは「うつの人を抱えた家族のために」です。話題提供者・アドバイザーとして笠松病院院長の稲村茂先生をお招きします。8月に行われた第2回患者塾「うつの人への上手な接し方」（話題提供者・アドバイザーはさいとう神経科クリニックの斉藤征司院長）が好評だったことを受けての開催です。遊学舎研修室で行います。今年度最終回の患者塾となります。

## **講座「ほんねが言える会のすすめ方」**

2月9日（土）10：00～15：00

講師に NPO 法人あきたコアセンター理事長の小西知子さんをお招きして、「いつも同じ人が発言する」「何も決まらない」「雰囲気固い」など、NPO や地域活動団体会員、町内会役員、PTA 役員などを対象に行います。

お知り合いの方にもどうぞお勧めください。